

# 振動試験機の紹介

材料技術部門

平成 20 年度に材料技術部門(長野市)に導入した振動試験機についてご紹介します。本装置は依頼試験などにより、県内企業の皆様にご利用いただくことができます。

## ■ 装置概要

製品・部品に振動を作用させ、所定の性能を保つかどうかを評価する試験機です。

従来の当部門の試験機では正弦波、ランダム波のみ試験が可能でしたが、それに加えてショック波、任意波形についても対応可能になりました。また、移動式の恒温槽と組み合わせることで、温度環境下での振動試験が実施できます。(恒温槽は垂直方向のみ利用可能です)。

## ■ 用途

主に各種の電子機器・精密機器・情報機器などの製品・部品や包装貨物を対象とした振動試験に利用できます。利用環境や輸送環境を模擬した様々な種類の振動を発生させ、JIS、IEC(国際標準化機構)規格等に規定の試験を行うことができます。また、自動車・航空用部品等に求められる温度条件下における複合環境試験が実施できるようになりました。

## ■ 仕様

メーカー:EMIC(株)

型番:振動試験機 F-16000BDH/LA16AW

恒温槽 VC-102DAMXS(32)P3T

加振力: 16kN(正弦波)、12.8kN(ランダム波)、40 kN(ショック波)

周波数範囲: 3~3000Hz

最大加速度: 1067m/s<sup>2</sup>(無負荷時)

最大変位: 56mm<sup>P-P</sup>

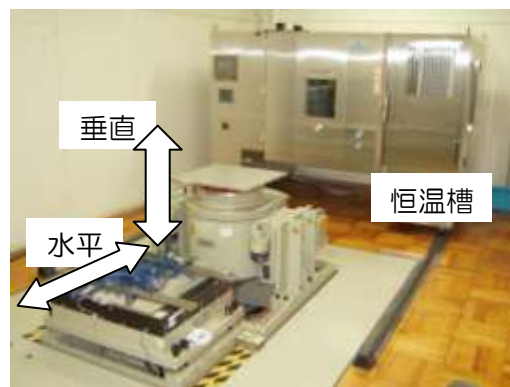
試験機能: 正弦波(一定周波数、掃引)、ランダム波、ショック波、任意波

最大搭載重量: 200 kg(治具等含まず)

恒温槽:温度範囲 -40℃ ~ +150℃

容積 1000×1000×1000 mm

(垂直方向のみです)



振動試験機(手前)と恒温槽(奥)

## ■ おわりに

本装置は、依頼試験等で県内企業の皆様にご利用いただくことが可能となっております。詳細は下記の連絡先までお問い合わせ下さい。なお、本装置は、財団法人JKA(旧日本自転車振興会)の競輪の補助金により導入されました。

長野県工業技術総合センター

材料技術部門 製品科学部

TEL : 026-226-2107 FAX : 026-291-6243

E-mail : kogyoshiken@pref.nagano.jp